



海の子

浜松市立舞阪小学校
学校だより
令和8年7月7日



地域の皆様に支えられて

校長 古川 里江

6月17日に舞阪地区民生委員・主任児童委員との連絡協議会を開催し、委員の皆様から様々な声をいただきました。授業参観については、子供たちがよく頑張っていること、以前と現在の授業の違い等が挙げられました。学校外の生活については、横断歩道があるメリット、登下校における安全な歩行、自転車の安全な乗り方等、交通安全に関することがいくつか挙げられました。また、先日の津波注意報に対する学校の対応がとても安心できるものだったので、ありがたかったといううれしい声もいただきました。今後も、保護者様・地域の皆様・学校が一体となって子供たちの命を守っていくことができるよう連携を深めてまいります。

本校におけるコミュニティ・スクール(学校運営協議会を設置している学校)も、5年目を迎えました。変化の激しい社会において、子供たちの将来を見据えた教育活動を展開する必要があり、学校運営協議会にて目標・ビジョンの共有や課題の共有を行い、子供たちに必要な支援を地域からいただいています。今後も、連携・協働体制の充実を目指し、さらに地域と共にある舞阪小学校をめざしてまいります。

命について考える日

浜松市の全小中学校では、尊い命が失われた悲しい出来事を決して忘れることのないよう、6月12日を基準日として「いのちについて考える日」の取り組みを実施しています。今年度、本校では、6月8日(月)を「命について考える日」として、朝会において、命について学んだ道徳科の授業で感じたことを各学年の代表児童が発表したり、校長から子供たちに話したりしました。また、当日はフィリピン南部の地震に伴う津波注意報の発表もあり、訓練ではなく、実際にライフジャケットを着用しての屋上避難や校舎3階への避難、地区別下校も行いました。「命の大切さ」、「命を守るために必要なことは何か」、「命を輝かせるとはどういうことか」を真剣に考え、命があることへの感謝を実感する一日となりました。

<6月8日朝会 校長の話>

今日は命について考える日です。浜松市のどの小学校、中学校でも命について考える日を定め、このような会を開いている所が多いです。この世にたった一つしかない命です。みなさんが、命について考え、自分の命と周りの人の命を大切にするためにこの日ができました。

舞阪小学校の目標「さかな」の「な」は「なかま」ですね。

みんなを大切にしてほしい。

思いやりのある行動をしてほしい。

自分の命はもちろん、みんなの命を大切にする子になってほしいという願いが込められています。

舞阪小学校は来週6月19日に153歳の誕生日を迎えます。

みなさんにも誕生日があります。誕生日はあなたが生まれた大切な日、命が生まれた日です。誕生日は、「生まれてきてくれてありがとう」という周りの人の気持ちや、一つ年をとったことで、命が確かに今、存在していることの確認をする日だと思います。

私たちは一人では生きていけません。多くの人に助けられ、支えられたから、今、あなたはここにいます。そして、命と時間の二つだけは、人から借りたりもらったりしたら返すことができません。だからこそ命と時間は特に大切に守らなければならないものなのです。「命を大切にする」ということは「人を大切にする」ということです。あなたの周りにはあなたを大切に思ってくれる人がたくさんいます。だからあなたも周りの人を、周りの人の命を大切にしてください。

私の願いは、毎日みなさんが、安全に学校に来て、安全に生活して、安全に家に帰ることです。

そして、元気で明るく生活してほしいと願っています。命の大切さについて改めて考えてみましょう。



いきているって かんじるとき 【1年生代表児童】

どうとくのじかんに かんがえたよ
いきているって かんじるとき ごはんをたべるとき おやつをたべるとき きゅうしょくをたべるとき
おいしいね
いきているって かんじるとき おにごっこをするとき みんなとあそぶとき
たのしいね
いきているって かんじるとき ころんだとき
いたいなあ
でも だいじょうぶって いってもらうと
うれしいな
べんきょう さっかあ あそび いきているからできるんだよ
みんながいるからたのしいよ
いきているってうれしいね いきているってゆめがある
いのちってだいじだね



どうとくで いのちについて考えました 【2年生代表児童】

わたしはどうとくで「空色のじてん車」というお話を読み、いのちについて考えました。いのちは一つしかありません。そのいのちがなくなると、おうちの人もともだちもなくなります。だから、これからじぶんのいのちは、じぶんでまもりたいです。じぶんのいのちだけじゃなくて、まわりの人のいのちもまもりたいです。このお話をよんで、どれぐらいいのちがだいじかがわかりました。

たくさんの人をえがおにしたい 【3年生代表児童】

命はつながっていて、だれかがかなしむとみんながかなしむから、うれしいことをいっぱいにして、楽しいことをいっぱいにして、たくさんの人をえがおにしたい。生きていることを楽しいと思えたり、うれしいと思えたりできるようにしたい。人が楽しいと思える言葉や、うれしいと思える言葉を言えるだけたくさん言いたい。人が楽しい、うれしいと思うと自分もその気持ちになるから、それをいしきする。

命があって動いている、自分の意志で動いている 【4年生代表児童】

道徳のじゅぎょうで、クラスのみんなと命のことを話し合いました。初めに、「ロボットの犬と生き物の犬」のちがいについて考えました。「電池で動く。」「食べ物を食べるから動ける。」など、たくさんの意見が出ました。その中でわたしは生き物である人間は自分の意志で動いている。「命があって動いている。」だから、いろいろなことができるのだと考えました。

次に、「妹がうまれた」という話を読みました。私にも弟がいますが、生まれる時、予定日は7月初めごろでしたが、一週間くらい早く生まれました。このことから、今、理科で観察しているツルレイシの発芽とにいて、生まれるタイミングは個人差があることに気付きました。

「自分の意志で動けること」、「個人差や個性があること」を大切に、すごしていきたいと思います。

今ある命を精一杯輝かせて最後までがんばって生きる 【5年生代表児童】

ぼくは、「命の詩」という話を読んで、こう考えました。みなさん、おもちゃの電池が切れたらどうしますか。新しいものと取りかえますよね。でも、私たちの「命」という電池は、一度切れてしまったら絶対に取りかえることはできません。それなのに、自分で命をたってしまった、いじめによって誰かの命をうばいそうになったりすることがあります。それはたった一つしかない大切な命をそまつにする、とても悲しいことです。

命を大切にすることとは、今ある命を精一杯輝かせて最後までがんばって生きるということだとぼくは思います。みなさんも自分や友達の命を大切に毎日をいっしょに全力で生きていきましょう。

これからもやさしくしていきたい 【5・6・7・8組代表児童】

私は命について考える日に、道徳で、やさしさについて学習しました。わたしは、人にやさしくすることが命の大切さにもつながると思いました。

これからも、言葉づかいや行動で、友だちや家ぞくにやさしくしていきたいです。



命と価値 【6年生代表児童】

ぼくは、命に価値を付けていました。自分に害をおよぼすものは価値が低いと考え、逆に有名人などは価値が高いと勝手に考えていました。ですが、様々な生物や、自身の親たちが、自分よりもずっと苦労していたとしても、支え合い、命をつなげて、今の自分がいるということに気づきました。そのため、命には価値を付けることはできないと思いました。

そして、ぼくもこの命で、だれかがこまっていたら、助け、支えるがわになりたいと思いました。